排泄関連

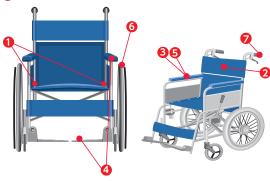
・口腔ケア

各部名称



サイズの選び方

- ⚠座った時、お尻の左右に各2cmのゆとりがあるもの (介助の人の手が入るように)
- グバックレストは肩甲骨の下ぐらい
- 3アームサポートに腕をおくと肘の角度が90度に曲げられる
- 4アームサポート・フットサポートがはずれると移乗がしやすい
- ⑤アームサポートに膝がくっつきすぎない
- ⑥駆動輪が大きい方が段や溝を越えやすい
- ハンドルグリップは介助者のへその高さくらいが適当



タイプ

自走式

自分自身で操作すること が出来るタイプ。介助者 が後ろから押すこともで き、後輪が大きく安定感



介助式

介助者が後ろから操 作するタイプ。自走用 の車いすより軽くコン パクト。後輪が小さく 小回りが利きます。



●前向きで段差を上がる

①体を密着させティッピングレバーを 踏みながらハンドグリップを後方に下 げ、キャスターを浮かせたまま直進。

②キャスターを上げ、浮かせたキャス ターを段に乗せ、後輪を段にくっつける。

③ハンドグリッ プを持ち上げ ながら前に押し 出し、後輪を段 差に沿ってすり あげる。



●後ろ向きで段差を降りる

介助者の車いすでのお世話

①体を密着させキャスターを上げ、ハンドグリップを持ち上げる ようにしながら後輪を段に沿っ て降ろす。

②キャスターを上げて後ろに引く。

③フットとつま先が 段差に当たらないよ うにキャスターを降

●急な坂を下がる

後方に注意しながら後 ろ向きで一歩一歩ゆっ くり下りる。





①おでかけ前にタイヤの空気が十分に入って いるか確認してください。(自転車用空気入れ

- ②乗り降りする時は駐車ブレーキ(タッグルブ レーキ)をしっかりかけて、転倒を防ぎましょう。
- ③急な坂道や段差は後ろ向き(バック)で進む と安全に降りることができます。
- ④歩行器として使用することはできません。

車いすの基本的な使い方

広げる

- ①両側のブレーキをかける。
- ②車いすを少し外側に開くようにする。
- ③シートの両側を両手で押し広げる。この時、ゆびを挟ま ないように注意してください。

たたむ

- ①両側のブレーキをかける。
- ③シートの中央部を持ち上げる。

押す

②フットプレートを持ち上げる。 介護される人に注意しながら

ゆっくり押す。



ブレーキをかける

- 両手でハンドグリップを握り、①車いすの横に立ち、片手でハンドグ リップを握り、他方の手でブレーキ をかける。
 - ②反対側も同様に ブレーキを





